

都市再生整備計画(第4回変更)

おおやちく
大谷地区

しずおかけんしずおかし
静岡県静岡市

平成22年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	静岡県	市町村名	しずおかし 静岡市	地区名	おおやちく 大谷地区	面積	105.0 ha
計画期間	平成	17	年度	～	平成	21	年度
交付期間	平成	17	年度	～	平成	21	年度

目標
 各種施設整備や面的整備を総合的に推進し、良好な生活環境と誰もが安心して暮らせる居住空間の形成を図り災害に強いまちづくりを目指す。
 目標①: 誰もが安心して暮らせる災害に強いまちづくり
 目標②: 住民主体のまちづくりの展開によるまちの再生

目標設定の根拠
 まちづくりの経緯及び現況
 本地区は、静岡市の中心部より東南へ約5.5km、東名インターチェンジより東へ約3.6kmの地点に位置し、地区の西側は大谷川放水路に接し、南側には駿河湾を臨む約105.0haの地区である。地区の中央部分の地盤が低いいため、幾度となく台風等による被害を受けており、排水計画を主とした総合排水計画の必要に迫られている。都市計画に基き主要幹線道路を整備し、地区内外の都市機能の向上を図ると共に、区画道路を適切に配置することにより、歪曲狭隘の道路を解消し、消防車、救急車等の緊急自動車の進入できる道路を完備し、住民の財産、生命を確保し、これらの幹線を中心に公共施設及び用途地域指定に基く土地利用の整備改善を図り、高度な土地利用をもって、健全で住み良い住環境づくりを行い、併せて情報の共有化を推し進め、将来の都市生活に対応できるような災害に強い安全なまちづくりを目指している。昭和63年度に事業開始し、平成13年度には防災環境等の改善を目的として「まちづくり総合支援事業」の採択を受け現在課題(防災・環境等問題のある地域の改善)克服のため施行中である。現在地域住民も事業に協力的であり地元住民組織「推進協議会」を中心に施行者と一体となって事業を押し進めている。

課題
 1 土地利用の課題・・・旧久能街道(旧幹線道路)沿いに日用品及び雑貨屋等の店舗が点在するが、その他の建物は概ね住宅であり、老朽家屋が密集している。
 2 公共施設の課題・・・東西に国道150号線が走り、旧久能街道(旧幹線道路)は曲がりくねっていて、分岐する生活道路は狭小であり、救急自動車の進入も不可能な箇所が多く存在する。近年小規模な宅地造成により農地が宅地化され、秩序ある公共施設の設備が必要とされる。
 3 排水の課題・・・地区中央部を東西に排水施設の不良による浸水地区があり、盛土により改善の必要がある。
 4 風害と交通騒音の課題・・・台風等の自然災害及び交通騒音対策のため緩衝緑地の設置が必要とされる。

将来ビジョン(中長期)
 ・老朽密集木造家屋の解消・主要幹線道路及び区画道路の整備により歪曲狭隘の道路の解消・盛土等による排水不良地区の解消により静岡市都市計画マスタープランによる都市整備の基本理念「誇りと愛着に支えられた安全で魅力あるまちづくり」を実現し市民が安心して生活できるように、防災性に優れた安全な都市整備を推進する。

目標を定量化する指標

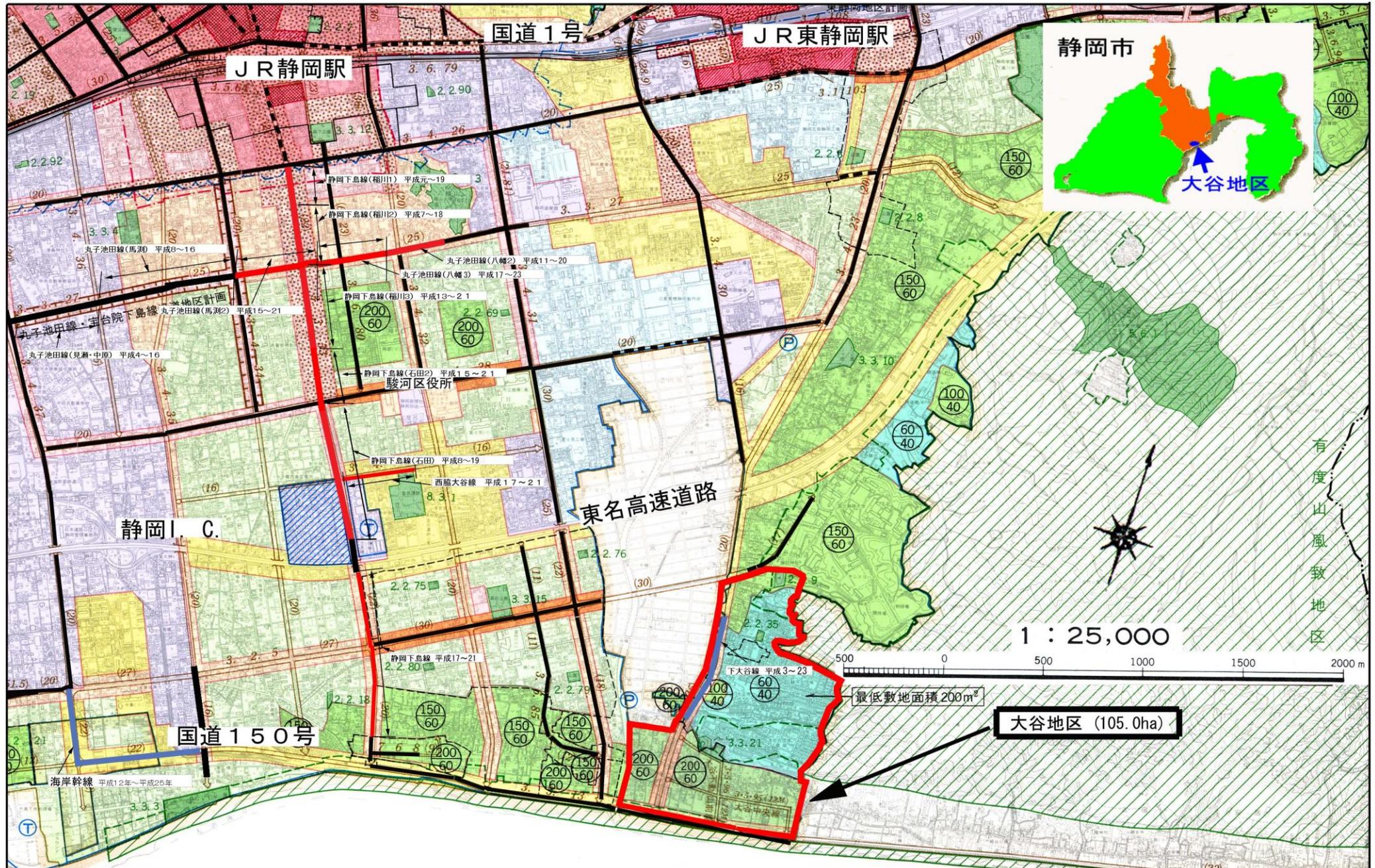
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
地区内住民等の環境に対する満足度	%	16年度実施調査で防災・環境に満足していない人数を従前値と定義し事業終了後地区内住民の7割が防災・環境に満足することを目標値に設定	安心快適に暮らせる災害に強い居住環境についての満足度	15	H16	70	H21
老朽家屋建替による住宅の耐震化戸数	戸	建築確認提出戸数及び耐震化補助事業等の申請戸数(全移転家屋の建替耐震化)	老朽家屋の建替促進による密集の解消及び耐震化	160	H17	320	H21
緊急自動車の進入不能道路の率	%	平成17年度当初の緊急自動車の通行不能幅員3m以下の道路の延長を全道路の延長で除した率を従前値と定義し事業終了後の同率が1/3に減少することを目標値に設定	安心快適に暮らせる災害に強い居住環境の創設	30	H17	10	H21
コミュニティーの形成	人	まちづくり及び防災に関する会議・ワークショップ・イベント等の参加人数	住民主体のまちづくり・地域コミュニティーの活性化及び防災意識の高揚	360	H17	1,440	H21

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>●誰もが安心して暮らせる災害に強いまちづくり 土地区画整理事業により都市基盤整備と公共施設整備を実施 a密集老朽家屋の解消 b主要幹線道路及び区画道路の整備により歪曲狭隘の道路を解消 c盛土等による排水不良地区の解消</p>	<p>・大谷土地区画整理事業 ・地域生活基盤施設 (緑地整備事業・耐震性貯水槽設置事業・海岸線防潮防風柵設置事業・排水路整備事業) ・地域創造支援事業(安全市街地形成事業・排水路整備事業) ・道路事業(下大谷線整備事業) ・公園事業(池の谷公園整備事業)</p>
<p>●住民主体のまちづくりの展開によるまちの再生 地域住民の相互交流を目的として、地域活性化の拠点としてコミュニティ活動を支える中核施設の建設。併せて治水を主に防災に関する啓蒙活動の拠点化を図る。</p>	<p>・大谷土地区画整理事業 ・地域生活基盤施設(耐震性貯水槽設置事業・排水路整備事業) ・高次都市施設(仮称巴川流域治水交流センター建設事業) ・地域創造支援事業(安全市街地形成事業・排水路整備事業)</p>
<p>その他</p>	
<p>●住民主体のまちづくりの展開によるまちの再生 1地域住民自主組織 大谷土地区画整理推進協議会 2設立の経緯 一時期の事業停滞を懸念する住民の総意により平成11年度に設立。「災害に強い安全・安心な住みよりまちづくり」をスローガンに施行者と地域住民が協力し、事業の円滑かつ早期完成の目標達成のため設立。 3組織 地区内住民が同協議会の会員となり、町内各組の代表約50名が役員を組織する。執行機関として、会長(1名)副会長(6名)を置き、事業進展の中で顕在化する問題点を住民の立場で対応検討するために以下専門委員会を設置している。 ①公民館・公園設置検討委員会(委員12名) 公民館及び公園の設置について検討する。 ②消防防火用水設置検討委員会(委員10名) 消防団詰所・防火用水槽の設置について検討する。 ③安全対策検討委員会(委員10名) 交通・防犯及び地震・大雨・台風等の自然災害に対し、懸案事項を検討する。 ④都市計画道路検討委員会(委員10名) 効率的な区画整理事業を推進するための基幹となる道路建設計画に関係する問題を検討する。 ⑤会計委員会(委員4名) 推進協議会の会計と活動・運営資金の調達(町内助成金・協力金等全て自主財源で運営) ⑥広報委員会(委員6名) 事業に関する情報を正しくわかりやすく伝える広報活動を行う。 4主な活動内容(実績) ①広報啓蒙活動 a地域住民に対し、「目に見える活動をの」主旨の基に「事業推進看板」・「のぼり旗」・「横断幕」の自主制作・自主設置。 b区画整理推進ステッカーを自主制作し、各戸配布及び玄関先への貼付の実施。 c広報誌「みんなの区画整理」を自主編集・自主発行し、最新情報を提供する。(毎月1回発行) d事業に対するアンケートの実施(不定期) e月1回の推進協議会定例会(25日)・準備会(第3土曜日)を毎月1回開催。 ②話し合い集会の開催・支援 a住民主体の街区を越えた問題解決のための話し合いを主催し実施。 b施行者主催の事業説明会開催の支援。 ③施行者との月例3者協議会の開催 施行者・審議会委員・推進協議会の3者による事業推進のための意見交換会の開催(毎月1回) 5今後の活動 区画整理事業を契機に東西に分断されていた公民館を住民の自主資金により統合し、防災機能をも考慮し、東西大谷統合公民館(通称 シーサイド大谷)を建設した。この公民館をまちづくりの拠点として従来の の活動内容を更に充実させ、住民主体のまちづくりを展開し、新たにまちづくり・防災に関するイベント等を開催し、新たなコミュニティの形成を図り官民一体となったまちづくりを実施する。</p>	

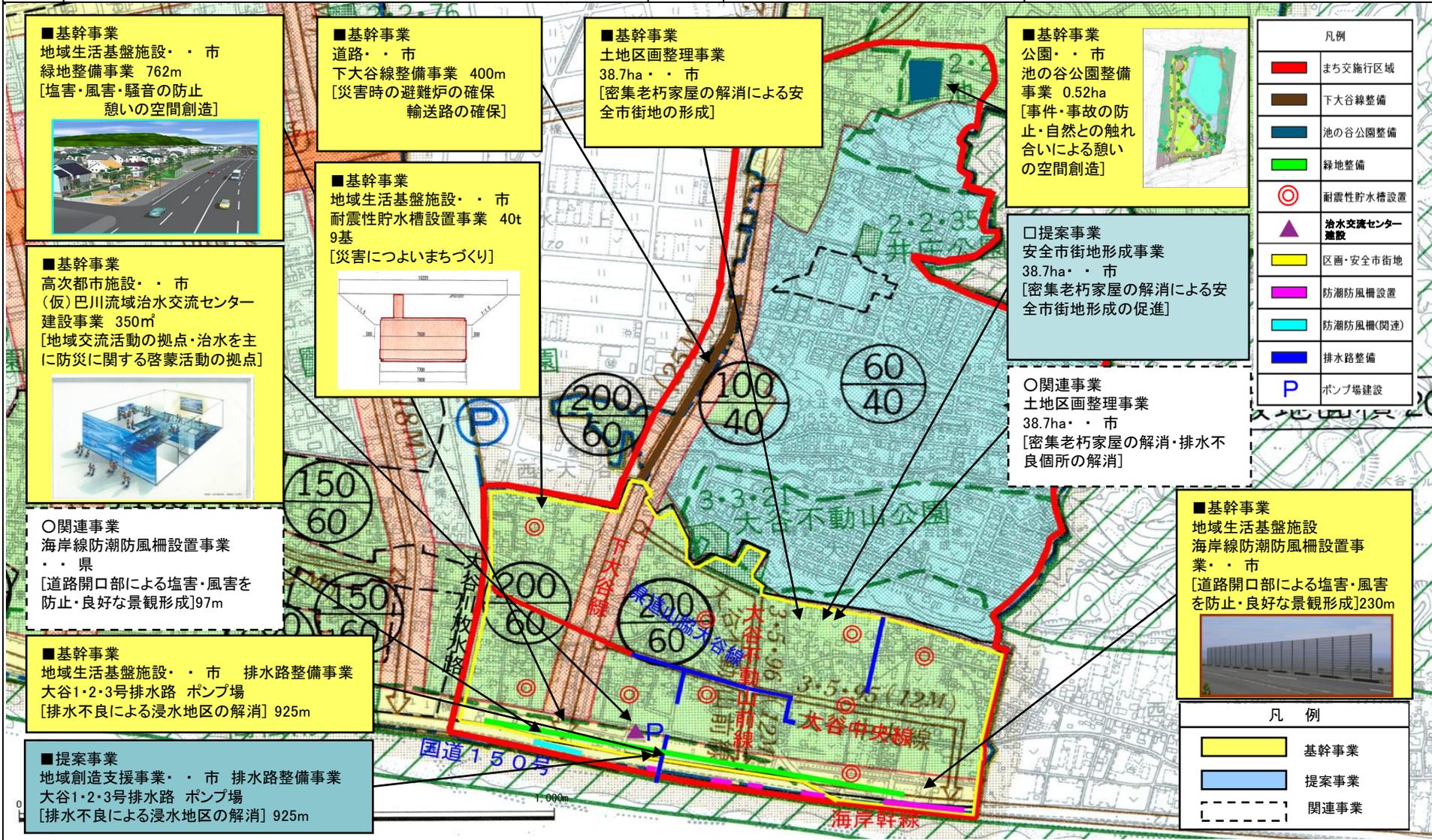
都市再生整備計画の区域

大谷地区（静岡県静岡市）	面積	105.0 ha	区域	大谷地区
--------------	----	----------	----	------

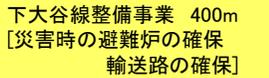


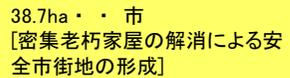
大谷地区(静岡県静岡市) 整備方針概要図

目標	各種施設整備や面的整備を総合的に推進し、良好な生活環境と誰もが安心して暮らせる居住環境の形成を図り災害に強いまちづくりを目指す。	代表的な指標	地区内住民の環境に対する満足度 (％)	15 (16年度) → 70 (21年度)
			老朽家屋建替による住宅の耐震化戸数 (戸)	160 (17年度) → 320 (21年度)
			コミュニティの形成 (参加人数)	360 (17年度) → 1,440 (21年度)



■基幹事業
 地域生活基盤施設・市
 緑地整備事業 762m
 [塩害・風害・騒音の防止
 憩いの空間創造]


■基幹事業
 道路・市
 下大谷線整備事業 400m
 [災害時の避難炉の確保
 輸送路の確保]


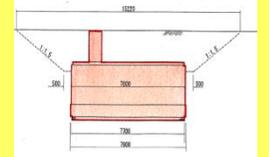
■基幹事業
 土地区画整理事業
 38.7ha・市
 [密集老朽家屋の解消による安
 全市街地の形成]


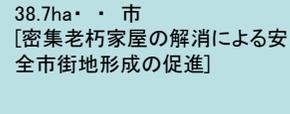
■基幹事業
 公園・市
 池の谷公園整備
 事業 0.52ha
 [事件・事故の防
 止・自然との触れ
 合いによる憩い
 の空間創造]

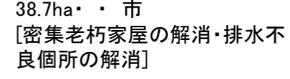

凡例

	まち交流区域
	下大谷線整備
	池の谷公園整備
	緑地整備
	耐震性貯水槽設置
	治水交流センター建設
	区画・安全市街地
	防潮防風柵設置
	防潮防風柵(関連)
	排水路整備
	ポンプ場建設

■基幹事業
 高次都市施設・市
 (仮) 巴川流域治水交流センター
 建設事業 350㎡
 [地域交流活動の拠点・治水を主
 に防災に関する啓蒙活動の拠点]

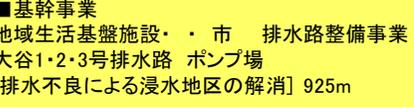

■基幹事業
 地域生活基盤施設・市
 耐震性貯水槽設置事業 40t
 9基
 [災害につよまちづくり]


□提案事業
 安全市街地形成事業
 38.7ha・市
 [密集老朽家屋の解消による安
 全市街地形成の促進]


○関連事業
 土地区画整理事業
 38.7ha・市
 [密集老朽家屋の解消・排水不
 良個所の解消]


○関連事業
 海岸線防潮防風柵設置事業
 ・市
 [道路開口部による塩害・風害を
 防止・良好な景観形成]97m


■基幹事業
 地域生活基盤施設
 海岸線防潮防風柵設置事
 業・市
 [道路開口部による塩害・風害
 を防止・良好な景観形成]230m


■基幹事業
 地域生活基盤施設・市 排水路整備事業
 大谷1・2・3号排水路 ポンプ場
 [排水不良による浸水地区の解消] 925m


凡例

	基幹事業
	提案事業
	関連事業

■提案事業
 地域創造支援事業・市 排水路整備事業
 大谷1・2・3号排水路 ポンプ場
 [排水不良による浸水地区の解消] 925m
